

世界を変革するための17の目標 「SDGs」

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



SDGsとはSustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略で国連本部で日本を含む193の加盟国の合意の下採択された「世界を変革するための17の目標」です。

取り組みテーマは「ゴール」と呼ばれ、上図のように17のゴールに分かれています。1つのゴールにつきおよそ10の細かい項目が明確化にされており合計169の項目により17のゴールが構成されています。この17のゴールを世界的に持続可能な中長期的取り組みとして2030年までを期限に、各国でSDGsを使った様々な取り組みが行われています。

この取り組みは企業だけが行っていくものではありません。更に各国と地域では課題となるテーマが異なるかもしれません。

ですが、1つの国で大きな課題とされている問題は、いずれは異なる地域にいる私たち一人ひとりの問題であり課題となっていくことを認識しなければいけません。

その中でも特に株式会社海族DMCは企業として、ビジネスを通じて社会に貢献するスキームを主体的に作っていくべく、以下の取り組みを推進致します。



あらゆる場所のあらゆるかたちの貧困を終わらせる

極度の貧困は1990年以来かなり緩和されてきましたが、最悪の形態の貧困のポケットは存続します。貧困の解消には、ライフサイクル全体を通してすべての個人を保護することを目的とした普遍的な社会保護システムが必要です。

日本において「貧困問題」は、あまり身近なものだと感じている人は多くないかもしれませんが、しかし、誰にも見つからず、誰にも言えず、ただただ耐えるしかできない生活が、日本にも確かにあることを私たちは想像しなくてはなりません。

貧困は社会レベルで大きく変えていかねばならない問題である一方で、本当に困っている人を見つけられるのは私たち一人一人です。自分の半径10mの世界の自由は、豊かさはどんな状態でしょうか。まずは自分の身の回りの世界から、見渡してみてください。

そこでかける一声が、大きな支えになるかもしれません。



全ての人への衡平な質の高い教育と生涯学習の機会を提供する

未だに、世界中の子供や青年の半数以上が、読書や数学の最低限の習熟基準を満たしていません。教育の質を向上させるためには、集中的な努力が必要です。ジェンダー、都市部、農村部の場所、その他の側面の線に沿った教育格差は依然として深刻です。

基本的な能力というより高次の能力の習得、技術・職業教育と訓練、高等教育へのアクセスの拡大と公平化、生涯訓練、および、十分な役割を果たし、社会に貢献するために必要な知識、能力、価値観に焦点を絞るものです。

すべての子どもたちが教育を受けられないのにはどういった理由があるのでしょうか？

学校が近くにない、教員がない以外にもエネルギーや治安など多くの不可分な課題があります。

ほとんどすべての子どもが学校に通う日本でも多くの人が教育に課題感を持っています。それはどういった課題なのでしょう。そして皆さんは理想の教育とはどういったものだと考えますか？

私たちは、子ども、障害及びジェンダーに配慮した教育施設を構築・改良しすべての人々に安全で非暴力的、包摂的、効果的な学習環境を提供できるように取り組んでまいります。



気候変動とその影響を軽減するための緊急対策を講じる

気候変動は開発にとって最大の脅威であり、その広範な未曾有の影響は、最貧層と最も脆弱な立場にある人々に不当に重くのしかかっています。気候変動とその影響に対処するだけでなく、気候関連の危険や自然災害に対応できる回復力を構築するためにも、緊急の対策が必要です。

地球温暖化など、気候変動の問題は私たちにただちに影響はないかもしれません。

しかし、温暖化から引き起こされるおびただしい数の諸問題は私たちの子どもたちだけでなく地球上の生態系そのものを壊しかねません。そしてそれはいま対策を怠れば後戻りができない問題です。

すべての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靱性、回復力、及び適応の能力を強化する。気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する。

日本は特に水に囲まれた土地柄、水災害にも影響を受けやすい国です。正しい認識を持ち、私たち1人1人ができる行動を、未来をイメージしながら考えてみましょう。



海と海洋資源を守り、持続可能な利用を促進する

海洋の持続可能な利用と保全を進めるには、乱獲、海洋酸性化の拡大、沿岸富栄養化の悪化といった悪影響に対抗するための効果的な戦略と管理が引き続き必要です。海洋生物多様性のための保護地域の拡大、研究能力の強化、海洋科学への資金提供の増加は、海洋資源を保護するために依然として非常に重要です。プラスチックゴミの廃棄や漁業の乱獲により、海洋資源や生物は著しく減少しています。

地球の70%以上を覆い、各大陸を繋ぐ1つの海は私たちが生きていくうえでもなくてはならないものです。

海は私たちに多くのものを与えてくれていますが、私たちは海になにができるでしょう？

海洋ごみや富栄養化を含む、特に陸上活動による汚染など、あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に削減する。

海洋及び沿岸の生態系に関する重大な悪影響を回避するため、持続的な管理と保護を行い、健全で生産的な海洋を実現するため、海洋及び沿岸の生態系の回復のための取組を行う。漁業業、水産養殖及び観光の持続可能な管理などを通じ、小島嶼開発途上国及び後発開発途上国の海洋資源の持続的な利用による経済的便益を増大させる。

SDGsは、普遍的な目標として
「誰も置き去りにしない」という約束を掲げています。



先進国と途上国、そして企業と私たち個人がともに目標達成のために努力をしていかないことには、貧困の解消や格差の是正といった深刻な問題は解決できません。

私たち一人ひとりにも、できることは数多くあります。2030年の世界を変え、その先の未来に引き継いでいくためには、SDGsを特別なものとしてではなく、「自分ごと」として捉え、それぞれの活動、生活の中に浸透させていくことが大切です。

私たち株式会社海族DMCは企業として取り組むだけでなく、生活している一人一人が取り組むための「仕組み」をつくり共に取り組み、将来への財産を残していくべく事業を促進して参ります。